

## viコマンドに慣れよう

1. viエディタについて
2. 入力モードとコマンド
3. 入力モードのコマンド
4. コマンドモードのコマンド

## viエディタについて

- Linux/BSD標準のエディタ（文字入力、編集ソフト）
- マウスが使えない、カーソルキーが使えないなど、制約が多いが、それらに慣れると、ホームポジションから指を離すことなく入力が行え、効率的。
- 最近では『vi』から派生した『vim』が標準でLinuxに入っている場合も多いが、BSD系は依然、デフォルトではviのみなことが多い。
- 『vim』では『vi』の機能をそのままに、マウスやカーソルキーが利用可能になっている。

## 入力モードとコマンドモードについて

- viではカーソルが利用できないため、入力とカーソル移動などが同時に行えない。
- コマンドモードでは、カーソル移動以外にさまざまなコマンドを利用して、慣れるととても便利。

## 入力モードのコマンド

- コマンドモードより変更する

ESC : コマンドモードへ

## コマンドモードのコマンド

- 入力モードより変更する

### カーソル移動

h : カーソルを左へ  
j : カーソルを下へ  
k : カーソルを上へ  
l : カーソルを右へ  
G : 文章の一番末尾へ

## 編集

x : カーソルの位置にある一文字削除  
X : カーソルの位置の一つ前の一文字削除  
dd : 一行削除（切り取り）  
yy : 一行コピー  
p : コピーしたものを貼り付け  
r : カーソル位置の文字を置換  
『%/置換前/置換後/g』 : 文章内すべてを置換する

## 数字と編集

n編集コマンド n回編集コマンドを行う  
10x : カーソルの位置から十文字削除  
3dd : 三行削除  
2yy : 二行コピー

## 検索

『:/文字列』 : カーソルより一番近い文字列を検索する  
n : 検索を続ける

## 入力モードへ変更

A : カーソルの位置の行の末尾まで移動してから、入力モードへ  
a : カーソルの位置の次から入力モードへ  
i : カーソルの位置から入力モードへ  
o : カーソル位置の次の行から入力モードへ

## 保存、終了

『:wq』 : 保存して終了  
『:q!』 : 保存せずに終了

## 入力モードと出力モード